横浜市立樽町中学校全体計画構造図

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○教育関連法規
○学習指導要領

○横浜市基本構想
○横浜市教育ビジョン
○横浜版学習指導要領

一人ひとりの生徒にしっかり教えしっかり引き出す指導を通し、知・徳・体・公・開で示す横浜の生徒の育成を目指す。

○ 師岡小学校教育目標
○ 大曽根小学校教育目標
○ 綱島東小学校教育目標
○ 綱島小学校教育目標
○ 生徒や地域の実態
○ 保護者・地域・教職員・生徒の思い

学校教育目標

だれもが、安心して、豊かに、生活、・学習できる学校をつくります

学校教育目標を実現するための具体的な目標

・社会の基本的な知識やモラルを身につけ、自立を目指すことのできる生徒を育てます。（知・徳・体）
・豊かな関わりあいをもち、社会を創り出すことのできる生徒を育てます。（徳・公）
・多様な価値観を活かし、学び合うことのできる生徒を育てます。（知・公・徳・開）

学校評価

自己評価
関係者評価

学年目標　学年経営方針

師岡小学校
大曽根小学校
綱島小学校
綱島東小学校
6年生の目標

1年生の目標
いろいろな活動を通し社会のモラルを身につけ、主体的に自己実現を図るよう支援し、思いやりの心・多様な価値観を生かしともに高めあう学習を進

2年生の目標
1年生での目標に加え、人と自然との豊かな関わり合いを通して、共に生きる社会を創り出そうとする力を育てます。

3年生の目標
最高学年として社会の基本的な知識やモラルを持ち、主体的に自己表現ができるように支援します。

個別支援教育の目標
生徒個々の可能性をできる限り伸ばし、将来それぞれが目指すところの社会的自立に少しで

各教科など教育活動の指導の重点

国語　国語を正確に理解し、思考力、判断力、表現力および言語感覚を育てる。また国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。
社会　広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
数学　基本的な計算力を身につけ、事象を数理的に考察する能力を高める。また、数学的な見方や考え方が適切にできる能力を育てるとともに、課題を自ら発見し、解決していく能力を身につけさせる。
理科　自然に対する関心を高め、観察・実験などを通して自然の事物・現象について科学的に調べる能力や態度を育てるとともに科学的な見識を高める。
音楽　生徒が感性を高め思考判断し、表現する音楽科教育の充実を目指す。
美術　美術を愛好する心情を深め、豊かに発想し構想する能力や意図に応じて創意工夫し表現する能力を伸ばすとともに、よや美しさを味わう鑑賞の能力を高める。
体育　運動の合理的な実践を通して運動に親しむ習慣を育てるとともに、健康安全について理解させ、健康の増進と体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
技家　生活に必要な基礎的基本的な知識および技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。
英語　基礎的・基本的事項の定着を図る。コミュニケーション能力の育成を目指し、効果的な学習指導・評価の方法と改善と充実に努める。また異文化を理解し、異文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力の育成に努める。

六つの重点

「豊かな心の育成」
・体験活動（自然・職業・福祉等）の充実
・道徳の時間の充実

「健康でたくましい体」の育成
・食の教育の計画的実践
・健康教育の推進

「国語力及び学習の基盤的能力の育成」
・国語科における言語活動の充実
・学習の基盤的能力の育成

・「コミュニケーション能力の育成」
・外国語体験活動の充実
・諸活動における異年齢交流

「情報社会を生き抜く能力の育成」
・情報モラル・マナーの育成
・情報活用能力の育成

「社会の変化に対応する能力の育成」
・職業体験活動の充実
・安全教育の充実

<特活>
自ら社会の基本モラルを身につけ，自立を目指すことができる教育を展開する。ガイダンスの機能を取り入れ，自らの将来の生き方を考え行動することを目指す。体験的な学習を広く取り入れ話し合いやグループ討議を多く取り入れる。社会

<道徳>
人と人とのふれ合いを大切にし、豊かな心、思いやりの心と、道徳的実践力を育てる。自主的、実践的態度を身につけ、様々な価値観を認め、感謝と思いやりの心をもつ自然を愛護し、自他の生命を尊重する。集団の一員として協力しあい、

<総合>
生活体験の中から自らの学習課題を見いだし、探求活動を通して主体的に課題解決する姿勢を身につける。学習を通して、自己の生きかたを見つめ、地域・社会に貢献する行動を考え、実践する力を身につける。他の教科で学んだことを

四つの具体的な取

読解力向上へ向けた指導モデル
・朝の読書活動を通した読解力向上
・国語科における言

英語教育の推進
・外国語体験活動の充実
・T・Tによる英語教育の実践

一人ひとりのニーズに対応した教育
・少人数指導の実践
・特別支援教育の充実
・国際教室の開設

「横浜の時間」
・学習の基盤的能力の育成
・行事と連携した課題学習の実践